

## 令和6年度決算審査における事業評価シート（分科会まとめ）

事業名 高齢者が地域で安心して暮らすための支援

## 1. 分科会委員の評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
四民（市）のニーズを把握した事業となっているか	①なっている(20点)	2	○	<p>介護従事者確保事業において、講座修了者が12名と少なく、ニーズ把握が必要。</p> <p>令和3年度事業評価において議会が提言を行った結果、在宅老人福祉事業が見直され、多くの市民が利用できる事業となったことは評価するが、おむつ支給に関して、支給対象を狭めていくことに、市民のニーズを把握されているとは言い難い。</p> <p>元気リーダーコースは、高齢者が運動をする機会の提供としてニーズに即したものとなっている。</p> <p>包括支援センター支所が病院内に設置されたことで、市民のニーズをより把握しやすい体制が構築された。</p>
	②どちらかといえばなっている(15点)	6		
	③どちらかといえばなっていない(10点)			
	④なっているとは言い難い(5点)			
事業の課題、問題点を認識できているか	①できている(20点)	1	○	<p>総括的には認識できているが、介護事業者の確保が大きな課題であることを再認識されたい。</p>
	②どちらかといえばできている(15点)	7		
	③どちらかといえばできていない(10点)			
	④できているとは言い難い(5点)			
事業に工夫（費用、効率・効果）は見られるか	①見られる(20点)	1	○	<p>包括支援センターの支所を病院内に設置されたことで、支援体制を確保した上で在宅へ切り替えることができるようになった。</p> <p>高齢者デジタルライフ事業は、国庫補助喪失とともに事業が成立しなくなった。</p>
	②どちらかといえば見られる(15点)	5		
	③どちらかといえば見られない(10点)	2		
	④見られるとは言い難い(5点)			
計画、ビジョン、施策等に見	①なっている(20点)	3	○	<p>本施策は、介護者を確保することで成立する施策であるが、介護従事者確保</p>
	②どちらかといえばなっている(15点)	4		
	③どちらかといえばなっていない(10点)			

合った事業と なっているか	④なっているとは言い難い(5点)				事業など重点的に取り組むべき事業があるが、さらなる取組が必要である。 シニア地域活動応援ポイント事業アプリ運用管理委託料の事業実施が、システム構築することが困難と判断し、事業実施が見送られた。 既存の事業は、多様化する高齢者サービスにおいてさまざまな工夫が見られる。
事業の成果	①成果がある(20点)	3	○	20	きめ細かなサービスによって、一定の成果は得ている。 今後、市民参画や関係団体との連携、人材確保など事業として求められるものは増えてくる。
	②どちらかといえば成果がある(15点)	5			
	③どちらかといえば成果がない(10点)				
	④成果があるとは言い難い(5点)				

## 2. 分科会評価

評価		分科会の評価理由
80	4 良好である 76~100点	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 介護従事者確保事業において、講座修了者が12名と少なく、ニーズ把握が必要。 本施策は、介護者を確保することで成立する施策であるが、介護従事者確保事業など重点的に取り組むべき事業があるが、さらなる取組が必要である。</li> <li>▶ 令和3年度事業評価において議会が提言を行った結果、在宅老人福祉事業が見直され、多くの市民が利用できる事業となったことは評価するが、おむつ支給に関して、支給対象を狭めていくことに、市民のニーズを把握されているとは言い難い。</li> <li>▶ 元気リーダーコースは、高齢者が運動をする機会の提供としてニーズに即したものとなっている。</li> <li>▶ 包括支援センター支所が病院内に設置されたことで、市民のニーズをより把握しやすい体制が構築された。</li> <li>▶ 包括支援センターの支所を病院内に設置されたことで、支援体制を確保した上で在宅へ切り替えることができるようになった。</li> <li>▶ 高齢者デジタルライフ事業は、国庫補助喪失とともに事業が成立しなくなった。</li> <li>▶ シニア地域活動応援ポイント事業アプリ運用管理委託料の事業実施が、システム構築することが困難と判断し、事業実施が見送られた。</li> <li>▶ 既存の事業は、多様化する高齢者サービスにおいてさまざまな工夫が見られる。</li> </ul>
	3 おおむね適正である 51~75点	
	2 問題がある 26~50点	
	1 不適正である 1~25点	

### 3. この事業に対する提案

提案		提案、提言内容
5	5 拡充する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 介護従事者確保事業において、講座修了者が12名と少なく、事業の広報、講座内容のニーズ把握が必要である。介護従事者の確保は急務である。</li> <li>▶ 高齢者福祉の中でも本事業は、介護事業者が充実し、展開されることで成立するものが多い。今後、サービス利用者が急増することが明白であり、介護予防、介護サービス両面で充実を図られたい。</li> <li>▶ 令和7年度は、第9期介護保険計画の策定期であるが、計画策定に向け、支援体制について議論を尽くし、充実した事業とされたい。</li> </ul>
	4 改善し継続する	
	3 現状のまま継続する	
	2 縮小する	
	1 廃止・休止する	